

# KS タイルモルタル I

公共住宅建設工事共通仕様書  
タイル工事 陶磁器質タイル張り  
適合材料

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆  
NSK - 0306323

「KSタイルモルタルI」は、既調合タイプのポリマーセメント系タイル用モルタルです。UR都市機構のタイル張付け工事に適応できます。

## 特長

### 01 既調合タイプ

品質の安定した既調合タイプのポリマーセメント系タイル用モルタルです。

### 02 作業性

水で練り合わせるだけで、直ぐに施工できます。

### 03 接着性・耐久性

再乳化形粉末樹脂の配合により、タイル及び躯体との接着力が強く耐久性に優れています。

## 用途

- ・一般建築物の内外装
- ・内装（浴槽を除く）のタイル張り

## 適用下地

モルタル木造で仕上げ面 等

## ●標準施工仕様

材 料	工 法	タイルの種類	塗厚 (mm)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工面積 (m <sup>2</sup> /袋)
外装	モザイクタイル張り	ユニットタイル張り	3~5	4.6~7.7	3.2~5.4
	マスク張り	ユニットタイル張り (50角二丁以下)	3~4	4.6~6.2	4.0~5.4
	密着張り	一枚張り(小口平~二丁掛)	5~8	7.7~12.3	2.0~3.2
	改良圧着張り	一枚張り(小口平~二丁掛)	下地側 4~6 タイル側 3~4	10.8~15.4	1.6~2.3
内装	改良積上げ張り	一枚張り	13~18	20.0~27.7	0.9~1.2

(注) ①上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

# K S タイルモルタル I

## 荷 姿

粉 体 NET 25 kg/袋入

## 施工上の注意点

1. タイルは、JIS A 5209(陶磁器質タイル)の規定するJISマーク表示品とします。
2. 屋外及び屋内の大壁面に用いるタイルの裏足の高さは、表-1による。但し、陶器質タイルは除く。

【表-1】

タイルの大きさ	裏足の高さ (mm)
小口平タイル以上	1.5以上
25mm角タイルを超え 小口タイル未満 (50角、50二丁等)	0.7以上
25mm角タイル	0.5以上

3. 割付け図は、原則として作成して下さい。
4. 伸縮目地の位置は特記による。特記がなければ縦横に直線の伸縮目地を設け、垂直方向では、柱形がない場合は柱間ごと、柱形がある場合は柱形の両側とし、水平方向では各階ごとにして下さい。
5. 伸縮目地用シーリングの目地寸法は特記による。特記がなければ幅10mm以上、深さ7mm以上とし、充填する。また、目地位置は、材料を含め下地モルタルの伸縮目地に合わせて下さい。
6. 伸縮目地にはみ出した材料は、すべて削り落とし、材料が十分でなく隙間ができた場合は、モルタルを補足し目地の形状を整える。
- \*モザイクタイル張り、マスク張り、密着張り及び改良圧着張り工法におけるコンクリート下地面の目違いは、セメント系下地調整材『B R # 5』を撫で付け平滑にする。但し、セメント系下地調整材による撫で付けの精度を超える目違いまたは、気泡のある場合は、初期補修用プレミックスポリマーセメントモルタルで処理して下さい。
7. タイル張り施工の前日に、デッキブラシ等で水洗いを行い、ほこり等を除去して下さい。
8. タイル張り施工の直前に適度の水湿しを行って下さい。
9. 清水6Lに粉体1袋(25kg)を徐々に加えて均一に混練し、必要に応じて0~1Lの清水で軟度調整して下さい。
10. タイルモルタルに水を加えて、練り混ぜる量は可使用時間内に使いきれぬ量として下さい。
11. 調合後の可使用時間は、1時間以内(20℃)として下さい。
12. 気温が5℃以下の場合は施工をさけて下さい。
13. 施工中及び材料が十分硬化しないうちに気温が3℃以下に降下する恐れのある場合には適切な採暖の処置をとって下さい。
14. 降雨、降雪または強風の場合は施工を避ける。また、タイル張り面が日光の直射及び風雨雪による影響を受ける恐れのある場合には、適切な保護・養生をして下さい。
15. 施工中及び材料が十分に硬化しないうちにタイル張り面に振動・衝撃を与えないように注意し、他工事との関連による損傷の恐れのある場合は適切な保護を行って下さい。
16. 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(製品データシート、旧MSDS)を参照して下さい。

### 【モザイクタイル張り】

- (1) K S タイルモルタル I の1回の塗付け面積は2㎡以下とし、塗付け後30分以内に張付けて下さい。
- (2) 張付けは、K S タイルモルタル I 塗付け後直ちに、タイルの目地部にタイル厚の1/2程度K S タイルモルタル I が盛り上がるまでに、木槌の類で十分たたき込んで下さい。
- (3) タイル張り継ぎ部分のK S タイルモルタル I は除去し、塗り直して下さい。

### 【マスク張り】

- (1) 張付けは、ユニットタイル裏面に適合したマスクをかぶせ、K S タイルモルタル I を所定の厚さにコテ塗りし、マスクを除去してタイルを張付けて下さい。
- (2) ユニットタイルは、よくもみ込むように押さえつけ、たたき板を用い、目地部分にタイルモルタルがはみ出す程度にたたき押さえして下さい。
- (3) 張付け後の目地修正は、速やかに行い、縦・横の通りを修正して下さい。

### 【密着張り】

- (1) K S タイルモルタル I の1回の塗り付け面積は2㎡以下とし、張り時間は30分以内として下さい。
- (2) 張り付け順序は、タイル割付けに基づいて水系を引き通し、窓・出入口回り・隅・角などの役物を先を行って下さい。
- (3) 張り付けは、K S タイルモルタル I を塗り付け後、直ちにタイルを押し当て、タイル張り用振動機(ヴィブラート)を用い、タイル表面に振動を与え、K S タイルモルタル I がタイル裏面全体にまわり、更にタイルの目地部にタイル厚の1/2以上材料が盛りあがるまで振動機を移動させながら、目違いのないように通りよく張り付けて下さい。
- (4) 化粧目地は、はみ出した材料が適度に硬化したときを見計らい、目地ごてを用いて所定の形状に仕上げる。目地からの盛り上がりも十分にとり、仕上り目地の深さは、タイル厚の1/2以内であるようにして下さい。

### 【改良圧着張り】

- (1) K S タイルモルタル I を下地面に塗り、これが硬まらないうちにタイル裏面に同じK S タイルモルタル I を塗ってタイルを張付けて下さい。
- (2) タイル側への塗付けは、空隙ができないようにタイル裏面全体にK S タイルモルタル I を塗って下さい。

## 保管上の注意点

1. 粉体は湿気や水掛かりに注意し、直射日光下・0℃以下での保管は避けてください。



## 注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。  
※上記の各種製品データは、**kikusuiダウンロードサイト** (『キクスイダウンロードサイト』を検索) でご確認ください。

